様式３(2020.08改)

作成日　令和　3年　11月　18日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372100731
事業所名	グループホーム葵

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、情報を得て地域の防災訓練や資源回収、掃除活動などの参加や、散歩時には挨拶を交わすなどして日常的な交流をしている。また、地域の祭りでは、子ども獅子や神輿が立ち寄り昔を懐かしんだり、事業所の夏祭りやクリスマス会には、子ども会を招くなど地域の人々が参加しやすい環境作りに努めているが、今年度もコロナ禍で踏み止まっている。中学校支援学級とは継続的に交流があり、今年も玄関先でプレゼント交換実施している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	入居者や町内会の総代、民生委員、介護相談員、地域包括支援センター職員の参加を得て年6回実施し、事業所の報告や参加者からの地域情報の提供を受け意見交換をしている。家族には、個人情報保護のため議事録は送っていないが面会時に話すようにしている。コロナ禍において、今年度も書面で開催し報告を行っている。再開は現在調整中である。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	行政担当窓口には、介護保険更新手続きや申請の代行業務、サービスの取り組みなどを伝えている。地域の困難事例の受け入れの依頼、施設の空き状況や入居状況などの話し合いを行うなど良好な協力関係を築いている。市主催の研修会やグループホーム部会の参加は自粛している。情報はメールや電話、FAXなどで入手している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞きその都度検討している。家族からは面会時に意見や要望を聞き、「面会ノート」に記録したり、メールやラインで家族とコミュニケーションを取り意見を述べやすい環境を整えている。ブログを利用して入居者の日ごろの様子や行事の写真を掲載して家族に安心を届けている。コロナ禍で面会は制限下で行っている。入居者の様子や意見、要望などを「気づきノート」に記録し、月1回の勉強会で話し合い、情報を共有して運営に反映させている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

運営推進会議については、新型コロナウイルスの影響で今年度も書面での開催としている。今後、状況を確認しながら再開の予定をしている。面会は状況を確認しながら予約制でマスク着用し、テラスや玄関先のガラス越し、居室など制限の基にコロナ感染症状況に沿って柔軟な対応をしたり、電話やタブレット、携帯など家族が対応できる方法で実施している。外出自粛が続く中、周辺を散歩をしたり、プランターの花の手入れをしたりして四季の移ろいを感じながら外気に触れるようにしている。入居者と一緒にレクリエーションや食事作りにアイデアを取り入れたり工夫をして生活のメリハリや楽しみが持てるようにし、職員と共に楽しめる暮らしを大切にしている。コロナ禍においても、中学校支援学級との長年継続しているプレゼント交換は職員を介して玄関先で行われ、例年にはないほのぼのとした心の繋がりが感じられる触れ合いとなった。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									